

第7回 みえのホホフォトコンテスト



入賞作品展



写真の撮影を通じて森林や木に親しんでいただくことを目的として、県内在住の18歳以下の方を対象に「三重の森林」をテーマにした「みえの森フォトコンテスト」を毎年開催しています。第7回の今回は、県内各地から計201点の応募をいただき、この展示では入賞した作品28点を展示しています。子どもたちの視点で捉えた、三重の森林の風景をご覧ください。

審査員コメント



写真家
松原 豊氏

今回の作品展は過去最高の応募者数となりました。応募者数が増えたことはこのプロジェクトへの関心が強くなってきているということになるので非常に嬉しいことです。応募者みなさんにお礼を申し上げます。

小学生以下の部、中学生以上の部共に、最優秀賞は造形のおもしろさと森の多様性の力強さが写真で表現された写真が選ばれました。

小学生以下の部の最優秀賞の「森のかみさま」は、最初に応募作品全体を見た時から強い印象が伝わってきました。この写真をじっくり見ていると恐竜などの骨の遺跡のようにも見えてきますね。観る側のさまざまな想像力をかき立ててくれます。タイトル名も良いと感じました。白黒写真にしてみると物の形態、フォルムが強調されて更に印象が強くなると感じました。

中学生以上の部の最優秀賞の「足元の世界」は、ぐねつと曲がった樹木やその下にある苔などの小さな植物たちが絡みつきながら育てている様子の描写は、森の植生と力強さを感じさせてくれる作品でした。太陽の光の当たり方も良くこの植生の色を美しく演出していることも被写体の存在感の強さを上手く引き出していました。



三重大学教育学部
准教授
平山 大輔氏

第7回目となる今回は応募数が一段と増え、200点を超えました。非常に嬉しく思います。小学生以下の部でも中学生以上の部でもとてもインパクトのある作品が多い印象を受けました。特に中学生以上の部で、被写体や構図の多様性がこれまでよりも高くなり、「何を撮ったら良いかな」ではなく、自分の好きなものを撮ろうという意思が感じられ、審査をしていて楽しかったです。コロナ禍で人間社会はとて大きな影響を受けましたが、作品に写されている自然、森林の姿は普段通りです。近くの森林に出かけ、カメラを片手に木や岩や生き物などを見ることで、コロナと関わりのない自然の世界の存在に気づくことができます。

これからも皆さんそれぞれに三重の森を見つめ続けてほしいと思います。

小学生以下の部の作品は構図のバランスの良い作品が多かったように感じました。構図の安定感が高かったのでしっかりと写真を見ることができましたがバランスが良すぎるとも感じました。「写真を撮ってみよう！」と思う被写体（撮影対象）に多少構図がゆがんでも良いので少しアングルを変えたり近寄ってみたりしながら撮影することにもチャレンジしてみたいと思いました。

中学生以上の部の応募作品で今回驚いたのは「カモシカ」と「蛇」と「鉄道」の存在です。私は「蛇」が苦手なのですが、応募作品は「蛇」をかなり近くで撮影しているように感じました。よく近寄って撮影できたなあ、と感心しました。審査会場で「毒蛇でないことがわかっていて近寄れたのではないのでしょうか？」という話が出ましたが、それでも被写体に近寄れない人には絶対に撮影できない写真です。（注意：被写体には無理して近寄らないようにして下さいね）また「カモシカ」も距離感が近いところで撮影しているようでしたのでよく撮影できたなあ、と感心しました。そして鉄道と森の写真が応募されているのには驚きました。「人と森の営み」ということを考えるときに人工物と森の関係性を表す「境界線」という存在を表現したことはおもしろい視点だと感じました。その3点の写真が入ることで「森」という存在がもつ様々な役割や側面などの多様性を感じることが出来ると共に、写真を見る人の想像力を刺激してくれました。それは「森」の持つイメージを広げてもらうことに繋がったと感じました。次回も新たなカメラアイで私たち写真を見る人の想像力を刺激してもらいたいと思います。



みえ森づくりサポートセンター
センター長
北野 信久

出点数が増えただけでなく、作品の幅がぐんと広がったようで今後が楽しみです。森の中の生き物に焦点をあてたもの、背景として森林を使ったものなど、変化に富んだ作品の数々に感心しながら楽しみながら審査をさせていただきました。ピントがきっちりあっていればとか、明るさが変わったいたらもうひとつおもしろいかなというものもありましたが、きれいな写真も多かった印象があります。入賞作品には森をじっくり見て、気づいたものがあり、それを表現しようと考えている様子うかがえるような写真が多いように感じました。

このフォトコンテストも第7回となりました。写真を通じて森林に関心を持っていただき、ますます応募数が増えますよう、第10回を目標に続けていけたらと思います。

主催：三重県 企画・運営：みえ森づくりサポートセンター

このフォトコンテストは、「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しています。